

「愛知用水概要図（木曽川総合開発の一翼としての）」（愛知用水当初プラン図）：
1944（昭和19）年もしくは1946（昭和21）年

1944（昭和19）年に名古屋幼年学校（小牧）教官となった浜島辰雄が、当時、尾張東部、知多半島の大旱魃を目のあたりにし、その対策のために現地を踏査し、作成した愛知用水路の導水計画である。トレース用紙に描かれており、1950年以降に印刷される「愛知用水概要図 木曽川総合開発の一翼」はこの当初プラン図をもとにつくられたと思われる。

